

頭張れ店長

パートの人手確保は

アベノミクス効果なのか、雇用に積極的な企業が増えて、人手不足や時給がアップする傾向がみられます。外食産業ではバイトが確保できずに一時休業するケースが出てきているので、パートやアルバイトの比率が高いホールにとつては他人事ではありません。どんな対策を取っているのか、各地の店長さんに聞きました。

本社へ時給アップ申請

「パートの応募が減っていることを実感しています。昨年までは募集をかけると2桁は応募してきたのに、今年になってからは数人という状況です。少ない応募者から採用するのだから質的にも期待できず、採用しても使いものにならないか、自分から辞める連中で採用ゼロのときもあります。派遣会社に問い合わせると、今年になってから時給がアップしていて、昨年の1割り増しが相場だそうですね。もともとホールの時給は他業

種に比べて高いのですが、仕事がつきついと思われているようです。それで本社に掛け合って、時給のアップを検討してもらっていると「こゝろです」（関東・A店長）

パート・アルバイトの時給の相場は、コンビニ店や外食チェーン店の時給が基準になっているようですが、昨年に比べて100円ほど上昇しているそうです。

積極的社員登用の効果

「うちもパートの応募が減っていますが、何とか必要数は確保しています。今後は厳しくなりそうですが、今いるパートが辞めなければ募集で苦労することはないはずですよ。というわけで、もともと設けていたパートの社員登用制度を積極的に進めています。この半年でパートの中で優秀な者を店長推薦で社員への登用を申請し、2人が仮採用されて私の店で張り切って働いています。社員になってボーナスや有給休暇がつくことを実

感すれば、そう簡単には辞めないでしょう。私もじっくり育てる楽しみが増えました」（中部・B店長）

B店長の職場では、ひと足先に社員になった先輩を見て、社員登用を希望するパートがいつそう頑張るといふ好循環が生まれているそうです。

飲み会でガス抜きして

「うちもパートの定着率がよいので採用で困ることはありません。今の店は私が赴任する以前からパートを対象に月に1回、研修会という形で早番を終えたら近くの飲食店で部屋を借り切り、業務改善の提案や仕事上の悩みを話してもらっています。それが終わったら飲み食いして、2

次会にはカラオケというのが恒例になっています。それがパート同士の親睦になり、また不満のガス抜きになって、パートの勤続年数が平均4〜5年と長くなっています」（中部・C店長）

C店長の店は家庭的な雰囲気職場結婚が多く、毎年1〜2組

店長からの投稿

ホールでの

置き引きが問題になっています。

プリペイドカードが抜き取られる、台を確保す

るために置いた携帯電話を盗られるといった被害はうち

の店でも月に数件あります。中には上皿に置いてあった財布を

盗られたというお客様もいて、こちらが「！」です。頻繁に人が出入

りする場所なのに油断が過ぎま

す。常連さんはホールスタッフと

顔なじみで、わが家のようにリラ

ックスしてくださるのは店として嬉

しいのですが、それで置き引きの被害にあっては困ります。「置き引き

にご注意ください」というポスター

を貼って呼びかけていますが、あまり警戒心を煽るとお客様がくつろげなくなるの

で、店としては痛し痒しといったところです。（関東・店長）

油断しすぎだが 置き引きの対策は 痛し痒しの面も

のカップルが誕生して、C店長が仲人を頼まれるそうです。

社員同様の扱いで定着

「うちのパートさんも勤続年数が長く、辞めるときは知人や後輩を紹介するのが慣例になっているので、採用に困ることはありません。募集経費もゼロですみます。それというのも会社は社員とパートの区別をし

ない方針で、パート勤務も勤続6か月以降はボーナスと有給休暇があり、社会保険にも加入するといった好条件だからです。勤務成績のよいパートは社員登用の道もあるのですが、フルタイムの勤務ができない、他の店舗に異動できないなどの理由で正社員になれない人も、社員並みの待遇なので居心地が良いでしょう」(関東・D店長)

1年以上勤務する常用雇用者で、勤務時間が正社員の4分の3以上なら社会保険に加入することになっていますが、実際はパート・アルバイトという身分では未加入というケースが少なくないようです

時給を100円アップ

「地方都市では、今もアルバイトを募集するとけっこう応募が集まりますし、うちの店を辞めて時給の高いところに行くアルバイトもあまりいません。それでも人手不足の波はそのうち地方都市にも波及するでしょう。その対策と消費税率の値上げもあって今年4月から時給を100円アップして、1100円(22時以降は1350円)にしました。勤続が長いところから昇給もありますが、アルバイトは大喜びでした」(東北・E

店長

もちろん、E店長の会社は社員の基本給も今年4月から昇給したそうです。

悩みの相談のついで

「当社はパートの勤務評定によって時給が上がるし、社員登用の道もありますが、長期勤務のパートが少ないのが現状です。それで今年になって、パートの人事管理を担当するマネージャには、パートの戦力化」として、定着率を高めることを目標に、食事に誘うなどして職場での悩み相談にのってもらっています。会社がパートを大事にしているという姿勢を感じたのか、大した理由もなく辞めるパートはいなくなりまし、社員になろうと考える若いパートも出てきました」(中部・G店長)

パート・アルバイトは、会社が自分たちを「いつでも辞めてかまわない人手」と見ていると思えば定着率は低いでしょうが、G店長のように大事な戦力として見ていると思えば張り切って働くものです。

パート・アルバイトの出入りが激しい職場は、自分たちがどういう扱いをしているのか見直したほうがいいかもしれません。